

平成25年11月定例会 経済委員会

平成25年12月18日（水）

〔委員会の概要 商工労働部・農林水産部関係〕

森田委員長

ただいまから、経済委員会を開会いたします。（11時08分）

直ちに、議事に入ります。

これより、商工労働部・農林水産部関係の調査を行います。

この際、商工労働部・農林水産部関係の追加提出予定議案について、理事者側から説明願うとともに、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

商工労働部

【追加提出予定議案】（資料①）

- 議案第26号 平成25年度徳島県一般会計補正予算（第4号）

【報告事項】

- 徳島ヴォルティスJ1昇格おもてなし協議会の設置について（資料②③）

農林水産部

【追加提出予定議案】（資料④）

- 議案第26号 平成25年度徳島県一般会計補正予算（第4号）

【報告事項】 な し

酒池商工労働部長

商工労働部から今議会に追加提出を予定しております案件につきまして、お手元の経済委員会説明資料（その3）に基づきまして、御説明させていただきます。

まず、1ページをお開きください。

一般会計・特別会計予算についてでございます。

商工労働部の平成25年度一般会計につきましては、補正額欄の最下欄に記載のとおり、2,500万円の増額をお願いしており、補正後の予算額は合計で664億2,881万1,000円となっております。

次に、3ページをお開きください。

課別主要事項説明といたしまして、観光国際局でございます。

4ページにまいりまして、観光費の摘要欄の①観光交流推進費でございます。

ア「マル新 徳島ヴォルティスJ1昇格おもてなし事業」といたしまして、徳島ヴォルティスのJ1昇格に伴い、来年3月の徳島でのJリーグ開幕に向け、渋滞・輸送対策や観光・宿泊対策といった喫緊の環境整備、また、観光・物産振興の推進などの対策を図るも

のでございます。

以上、観光国際局において、補正額の最下欄に記載のとおり、合計で2,500万円の増額をお願いいたしております。商工労働部において、今議会に追加提出を予定しております案件は、以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、この際、1点、御報告させていただきます。

「徳島ヴォルティスJ1昇格おもてなし協議会の設置」についてでございます。

お手元に資料1「徳島ヴォルティスJ1昇格おもてなし協議会の設置について」及び資料2「参考資料」をお配りさせていただいております。

資料1に基づき、御説明させていただきます。

徳島ヴォルティスのJ1昇格を受け、今後、徳島ヴォルティスがJ1にて活躍し定着できるよう、県を挙げてサポートいたしますとともに、渋滞・輸送対策や観光・宿泊対策といった環境整備の対策を図るため、去る12月13日におきまして、各界関係者の皆様で構成いたします「徳島ヴォルティスJ1昇格おもてなし協議会」を立ち上げたところでございます。

当協議会におきましては、新たな駐車場の確保やアウェイサポーター向けの情報発信の強化などの貴重な御意見を多数いただいたところでございます。今後、開幕に向け、対応策を御検討いただくとともに、県といたしましては、協議会における議論を踏まえ、この絶好の機会を逃すことなく、総力を挙げて受入体制の整備充実を図るとともに、観光・物産PRをはじめ、全国に徳島県を積極的に発信してまいりたいと考えております。

商工労働部からの報告につきましては、以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

吉田農林水産部長

お手元に御配布の経済委員会説明資料（その3）によりまして、農林水産部関係の案件につきまして御説明を申し上げます。

今回、提出を予定しております案件は、11月定例会閉会日に追加提出を予定しております平成25年度補正予算案でございます。今回の11月補正予算につきましては、国の補正予算を先取りする15か月プラス・アルファ予算として編成いたしまして、地域経済や県民生活を支えるとともに、大規模地震等を迎え撃つ、事前防災・減災対策に資する公共事業などを切れ目なく実施するため、所要の予算措置を行うものでございます。

説明資料の1ページを御覧ください。

歳入歳出予算一般会計の総括表でございますが、補正総額は、最下段補正額欄に記載のとおり、総額33億7,943万6,000円の増額をお願いするものでございまして、補正後の予算総額は380億8,012万8,000円となっております。

補正額の財源内訳につきましては、括弧内に記載のとおりであります。

2ページを御覧ください。

特別会計につきましては、補正はございません。

3 ページを御覧ください。

課別主要事項であります。

水産課であります。上から7段目の（目）漁港建設費につきましては、耐震岸壁や護岸の整備、防波堤等の耐震機能強化などに要する経費といたしまして、4億4,112万円の増額をお願いいたしております。

4 ページを御覧ください。

農業基盤課であります。上から3段目の（目）土地改良費につきましては、農業生産基盤整備に要する経費といたしまして4億7,840万円の増額、また、4段目の（目）農地防災事業費につきましては、農地の保全や災害の未然防止に要する経費といたしまして4億1,260万円の増額をお願いいたしております。

農業基盤課合計といたしましては、最下段の補正額の欄に記載のとおり、8億9,100万円の増額をお願いしております。

5 ページを御覧ください。

林業戦略課であります。上から1段目の（目）林業総務費につきましては、森林整備加速化・林業飛躍基金の積み立てを行うための経費といたしまして、10億円の増額をお願いしております。

4段目の（目）造林費につきましては、間伐や植林などの森林整備を支援する経費といたしまして、3億2,200万円の増額をお願いいたしております。

林業戦略課合計といたしましては、最下段の補正額の欄に記載のとおり、13億2,200万円の増額をお願いしております。

6 ページを御覧ください。

森林整備課であります。上から3段目の（目）林道費につきましては、森林の適切な整備と効率的な林業経営の基礎となる路網整備に要する経費といたしまして5億6,731万6,000円の増額、また、4段目の（目）治山費につきましては、山地災害の復旧や林地の保全と地すべり災害の未然防止に要する経費など1億5,800万円の増額をお願いいたしております。

森林整備課合計といたしましては、最下段の補正額の欄に記載のとおり、7億2,531万6,000円の増額をお願いしております。

7 ページを御覧ください。

繰越明許費につきましては、この度、補正予算をお願いしております水産課ほか3課の事業につきましては、8ページの翌年度繰越予定額欄の最下段に記載のとおり、23億6,643万6,000円の繰越をお願いするものであります。

提出予定案件の説明は、以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

森田委員長

以上で、説明等は終わりました。

これより質疑に入りますが、本日の委員会の質疑につきましては、先ほど開会の議会運

営委員会において、議案第26号に関するものに限るとの申し合わせがなされておりますので、委員各位におかれましては、議事進行につき御配意のほど、よろしくお願い申し上げます。

それでは、質疑をどうぞ。

来代委員

さっき部長のほうから、徳島ヴォルティスについての予算や色々な説明、発表をしていただいたんですが、ちょっと私の頭が悪いのか、理解力がちょっと乏しいのか、もう少し詳しく、徳島ヴォルティスにはこれぐらいの予算で、こういうことをやらないかん。だから、これは絶対に要るんだというのがあると思うんですが、その内容をきちんと教えていただけますか。

新居にぎわいづくり課長

来代委員から事業の内容について、詳しく説明をということでございます。今回の補正でお願いいたしております2,500万円につきましては、主に2つの柱がございます。

1つの柱は、渋滞・輸送対策でございます。公共交通機関の利用促進、それからJRバス等の公共交通機関の増便や増設への働きかけ。臨時駐車場の確保やシャトルバスの運行、そして、来場者への観光案内板等の設置でございます。

また、観光・宿泊対策といたしましては、県外からいらっしゃいます、これはアウェイサポーターというふうに呼んでおりますが、アウェイサポーター向けの情報発信。観光物産の振興につなげるための県外サポーターに対する本県の観光物産情報の効果的な発信、それから、観光・宿泊臨時案内所を空港や駅といった拠点におきまして設置させていただきたいと考えているところでございます。

来代委員

これぐらいの人が来てくれれば最高ですが、予算は全部で、今回だけの予算で幾らで、そして、今後どのぐらい予算が欲しいのか。新年度に向けてですけれども、予算の計画をちょっと具体的に教えてください。

新居にぎわいづくり課長

今回の予算につきましては補正予算でございますので、まずは諸課題、色々と先程も報告いたしました「おもてなし協議会」の中でお話をしておりますけれども、その中でまずもって急ぐことということで、スタジアム周辺の環境整備とサポーター向けの誘客対策ということで、進めさせていただいているところでございます。

来代委員

何ほか。

新居にぎわいづくり課長

2,500万円でございます。

来代委員

これは、2,500万円で終わりですか。それとも、この渋滞対策、駐車場対策、宿泊対策というたら、こんなもんでいけるわけないと思うんですが、一体この徳島ヴォルティスのJ1昇格で、これを徳島県発展のためにやろうと思えば、大体総額でどれぐらい必要と思われるんですか。

新居にぎわいづくり課長

現在、その事業の詳細につきましては、「おもてなし協議会」が来月中旬ということを目途に検討を続けているところでございます。委員がおっしゃいました来年度はどんなだという御言葉でございますが、その部分につきましても、詳細は協議会の中で詰めていきたいと考えているところでございます。

来代委員

そんなアホな。ほな、「おもてなし協議会」がするということは、県民の税金は一文も使わんのじゃね。「おもてなし協議会」が全部の金を出すんですか。それとも県民の金を使うんですか。県民の金を使うんだったら、きちんとした計画があつてしかるべきでしょ。分かりますか。県民の銭を使うんだったら、部長さん、何ぼ立派な課長でも「おもてなし協議会、おもてなし協議会」と、「おもてなし協議会」が全部この徳島ヴォルティスのことをやるんですか。県民の金を使うんでしょ。だしたら、きちんとするべきじゃないんですか。

新田観光国際局長

誠に申し訳ございません。おっしゃられるとおりではございますが、全体の日程につきましては、先程、課長から申し上げましたように、3月上旬に開幕するという中で、現在、詰めているところでございまして、今回お願いを申し上げますのは、喫緊の開幕まで、3月までの予算ということでお願いをいたすものでございます。この3月の開幕以降につきましても、この内容につきましても、しっかりと検証いたしまして、委員の皆様のお意見を踏まえまして、2月の県議会のほうにお諮りいたしまして、この千載一遇のチャンスを逃すことのないように、総力を挙げて取り組んでまいりたいと思っておりますが、来年度予算につきましては、また、お諮りさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

来代委員

そうしたら、部長、はっきりしてください。この「おもてなし協議会」で全部を運営するのか、県民の銭を使うんだから、きちんと監査もするし、その使い道も踏まえて県が一

一つ一つに口出しもする代わりにお金も出す。そして、徳島県民に徳島ヴォルティスが役立つようにするというのか。丸投げで「ああ、おもてなし協議会だから、はい。おもてなし協議会だから」何を言うても「おもてなし協議会だから」と言うとならええんですか。どっちなんですかここは。部長に聞きたい。

酒池商工労働部長

ただいま、来代委員さんのほうから御指摘いただきましたとおりでございます、「おもてなし協議会」につきましては、徳島ヴォルティスがこれからJ1に上がって運営をしていく中で、色んな課題が出てまいります。交通渋滞とか、それから地元のおもてなしとか、そういった関係する関係者の地元の声、関係者の声を十分に県といたしましても把握して、当然、県としてこれからどういうふうに対策を講じていくべきかというのは、県のほうで十分に考え、それをまた県議会のほうでお諮りさせていただいて、進めていきたいと考えております。

来代委員

県民の銭を使うんでしょ。

酒池商工労働部長

はい、そうです。当然、県議会のほうに、その予算をお願いして進めていきたいと考えております。

来代委員

それだったら、県がもうちょっと独自のものを、課長、これから間違っても「おもてなし協議会、おもてなし協議会」と壊れたレコードじゃあるまいし、そんなことばかり言わんように、もっと具体的に内容を詰めて自信を持ってやってくださいよ。これだけ要望しておきます。

そして、もうちょっと簡単に言うと、入るのを2万人にするって言ったわね。2万人にするわけですよ。そして、2万人にしたと。それで、2万人にするだけで商工労働部のほうでは、たったのそれだけでいくんかな。それとも2万人にしたら、どういう宣伝でいくのか。どういう物産を売るのか。徳島県の発展をどういうふうにするのか。その辺がちょっと分からんのですけれども、どういうふうにするかということについて、もうちょっと具体的にお願いします。

新居にぎわいづくり課長

観光を一体どういうふうにとということで御指摘をいただいております。観光につきましては、今回、特に県外サポーターの誘客としまして、試合観戦に来県したサポーターを県内観光に誘客して、宿泊の促進を図るということ。それから、心温まるおもてなしによりリピーターとして、また来県していただくことにつなげること。そしてまた、徳島ブラン

ド、農林水産物などの県産品の販売を促進することを目標にしております。

そして、具体的な内容といたしましては、まずは、情報発信ツールをフルに活用いたしまして、徳島ヴォルティスがJ1に参戦したこと、それから、それに関する試合や観光に関する情報発信をしていきたいと思っております。こういったものは、ウェブを作りましたり、あと、観光案内所を作ったりといったところで進めていきたいと思っております。

もちろん徳島県には県人会でありますとか、色々なルートがございますので、首都圏に向けての情報発信も考えていきたいと思っております。また、旅行会社との連携によりまず試合と県内観光を組み合わせた旅行商品の造成をお願いしたり、また、ホームタウン協議会等と連携しまして、観光物産PRをしたいと考えております。また、宿泊、運輸、観光事業関係団体の皆様と連携いたしまして、おもてなしマインドの徹底を図っていききたいと考えております。

来代委員

県内観光を考えてくれると。ところが見よったら、県西部にはうだつの家もあり、かずら橋もあり、県南へ行けば日和佐もあり、海岸もあり、海もきれいだ。見よったら鳴門市、松茂町で、美馬市もちょっとは入っているけれども、三好市は入っておらんし、海陽町も入っておらん。ほな、県内の観光というのは、ここへ書いている町だけの観光なんですか。やっぱりこれは、三好市の観光協会とか海陽町、あるいはもっと色んな町がありますけれども、同じやるんなら、行政関係も商工関係も、西だったら板野商工会で終わりじゃわね。これは、どんなんですか。県内の観光というのは、ここに書いている徳島商工会、鳴門商工会、美馬商工会、松茂商工会、北島商工会、藍住商工会、板野商工会、国府商工会、大麻商工会と、これ以外の観光、商工は要らんということやね。これは、はっきりしませんか。

仁木観光政策課長

ただいま、委員さんからホームタウン協議会との関連、また、ホームタウン協議会以外の部分、地域についてはどうなのかというような御質問を頂戴いたしました。

このJ1チームは全国で18チーム、徳島ヴォルティスを除くと17チームございますけれども、それぞれのチームでオフィシャルツアーといった制度がございますけれども、それぞれが旅行会社を決めてアウェイゲームへのツアーを組む。その中に、観光が組み込まれたりといった部分もございます。まずは、そうした各チームのサポーターごとの状況が異なりますので、そうした状況をまずしっかりと把握する必要があるということで、今、実は調査をしているところでございます。

そして、そうしたそれぞれの状況に合わせて、そのニーズに合う形で徳島県の観光や物産などを売り込んでいきたい、その作戦を立てていきたいと考えてございます。そして、ホームタウン協議会以外の地域、つまり県内全域、県西部、県南部も含めまして、できましたら県全体への観光、物産等へも広がりを持たすように、そうした部分での働きかけと、また、情報提供といった部分についても進めてまいりたいと考えてございます。

来代委員

この「おもてなし協議会」に、初めからそういうほうにも声を掛けておくべきじゃないんですか、部長。今頃になって、二番煎じで言われて嬉しいと思いますか。皆さんが委員に選ばれる時に、立派な会をして立ち上げて、「ほな、ついでやけん、あなた方も来ますかと」言われて、「はい、喜んで」と、そんなんに喜んで来るわけないでしょうが。サッカーファンは池田町にもいるんですよ。県南にもいるんですよ。税金は県西部の人間も払うとるんですよ。あまりにもちょっと、その考え方、やり方はおかしいんじゃないんですか。偏っていませんか。

新田観光国際局長

非常に説明足らずで申し訳ございませんでした。「J1昇格おもてなし協議会」の基本的なスキームといたしましては、今申し上げました全県域に対する観光誘客といたしますのは、県の観光協会が主体となって行うようにいたしております。今回、委員がおっしゃられますように、この一部の市町のほうに偏っておりますのは、先程、課長が御説明申し上げましたホームタウン協議会という仕組みがございまして、それで、これまでJ1を盛り上げていただけてきておりますので、その仕組みの中でということございまして、まずは、鳴門市に誘客が図られるわけでございますが、そこから全体に広げてまいりますのは、県の観光協会のほうが主体となってお声掛けしてやっていくという形でスキームを考えております。

来代委員

観光協会といたって。観光協会はどんだけの赤字が出て、県民の税金で抑えたのか分かってるんか。観光協会が一番素晴らしい組織じゃないんですよ。観光協会は行き詰まって、県民の金で始末したんじゃないんですか。その時を覚えてないんですか。その時も、この経済委員会で議論したじゃないですか。

そういう丸投げを県庁はやめて、もう1回、これは初心に帰って、サッカーというのは県内全域にファンがいる。観光地は県内全域にある。皆さんが常に言うように、「県議会と知事は車の両輪」と言うんだったら、ここも一つ、きちんともう1回考え直して、行政が音頭をとって、観光協会はその次じゃ。県西部も県南部も関係者の皆さんに声を掛けて委員に入ってもらって、その上で観光協会に協力を求めるというのが普通のやり方と思いますが、部長、私が間違っているんかいな。教えてください。

酒池商工労働部長

ただいま、来代委員さんからの御質問でございますけれども、この地元部会ですら出させていただいておりますリストにつきましては、J2ですが、最初にプロサッカーチームができるという時に、色々な関係市町村の方々にもお声掛けをさせていただきまして、協力をいただけるというところから発足いたしております。

今度、J1に昇格いたしますので、当然、県下全域で支援の輪を広げていくというふう

なことがとても重要であると思いますので、これ以外にも色々な形で協力を呼びかけてまいりたいと考えております。

来代委員

そのとおりですよ。元々、徳島ヴォルティスが一番最初にできた時に、この経済委員会で、その時は佐藤圭甫委員とか、色々な方々と私は意見を言うたんですよ。ただ、金だけを使うんだったらボロティスだろうと。ボロティスにならんように、きちんとやってくれよというところから始まったじゃないですか。そして県民の金を7億円か9億円か使ったじゃないですか。それを今頃になって、観光協会じゃの、地元だのと。県税は県民全部が払っているんです。そこを忘れたらいかんですよ。鳴門市だけでやっているじゃないんですよ。鳴門市だったら、鳴門市だけに全部の費用を出してもろうたらいいじゃないですか。そうでしょ。県民全部に協力を求めて、そして協力を求めたことが県全体の観光、あるいは経済の発展につながると。だから、徳島ヴォルティスJ1昇格でしょうが。違いますか。そうでしょ。

そうなってくると、最初からもうちょっと幅広くね。最初に作ったからといっても、今、J1に昇格しとるんじゃないですか。県民挙げてという時に、最初にやとったからと、それだけでやっていくんですか。じゃあこれが、J1は1年しかいけなくて、2年目、3年目からはJ2、J3じゃと。金はかけた、費用はかけた。その金を負担するのに、鳴門市だけで払ってくれるんですか。もう少し幅広く余裕を持っていかないかんですよ。

それともう1つは、この県民の銭を使うとる以上は、この徳島県がヴォルティスの出身地であると。例えば、私は今でも思っているけれども、前から言おうかと思って、今、初めて言うけれども、東京都の山手線、あるいは中央線の電車の中に、徳島ヴォルティスが試合する相手のチームを書いて、そのヴォルティスはここにいますっていう徳島県の地図を描くと。それで、関西に行ったら阪急電車、阪神電車、あるいはそれぞれのJ1に昇格するところの都市に、相手との戦いは、お互い頑張りましょうだけれども。徳島ヴォルティスはここにいますよというのを大いに利用すべきだと思うんですよ。

できれば、もうちょっと待ったら、西には池田高校、東には徳島ヴォルティス、徳島県はスポーツの王国ですよ。体力が悪いとか、国体はビリとかは書かんでええけん。それぐらい上手くマスコミを利用してやっていかなあかん。このマスコミにしたって、記者によるんやけれども、この委員会で鳥獣被害対策だの色々な過疎地の問題を2時間半やって、記者によっては一文字も書かない。それは、議論しているから、答えが出ているから、過疎でもものは言わなんだ。言うても一緒の答えやから。そうしたら県議会の費用だけが、余談ですけども、私が池田町から来たら片道2,100円、往復4,200円、ガソリン3,000円、日当入れたら合えへんがな。皆ただでなく、費用が要つとるんですよ。それと同時に、記者によって違いますんで、書ける記者、書かん記者、汽車でも新幹線もあれば快速線もあればローカル線もあるわけやから、やっぱりきちんとした記者に、きちんと宣伝をしてもらう。そういう体制、そして今の観光対策を踏まえて、ちょっと答えをいただけませんか。答えが良かったら終わりますから。

新田観光国際局長

ただいま、委員のほうからマスコミ利用をはじめ、電車におけるPRなど、様々な御意見を賜りました。私どもも今後の3月の開幕以後も、それまでもしっかりと検証いたしまして、今後、この千載一遇のチャンスを逃すことなく、総力を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

来代委員

電車の広告はしてくれるのか。

新田観光国際局長

それにつきましては、ただいま費用等の資料が手元にございませんで、検討はさせていただきますたいと考えております。

来代委員

もう終わりますけれども、同じやるんなら効果のある費用は使ったらい。費用対効果があるんだから。効果あるように、かけた費用の倍は儲かるようにすれば良いわけでしょ。そのためには、J1に3年はおってもらわんと。石の上にも3年じゃないけれども、最低3年は頑張ってもらおうとか。その費用で徳島県の知名度が上がれば、それはまた効果になる。徳島県の色んなものがコンビニにも出ていますけれども、そこで出してもらっても、その費用よりもお客が来てくれたら儲かると。そういう消極的だからいかんのですよ。部長、もっと積極的な答えをもらえませんか。

酒池商工労働部長

ただいま、来代委員さんのほうから御提案をいただきました件につきましては、今後、J1に上がって定着しないといけないというところがございます。まずは、J1は初めての体験でもございますので、進んで行く中で色々な課題が出てくると思います。やはり、効果的なPRというのは非常に重要だと思っておりますので、委員さんの御提案も踏まえまして、積極的に対応してまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。

岡本委員

開会の前に、来代委員から色々とアンテナショップのお話をいただいて、早速、J1のポスターを持って来ていただいて、実は、僕はびっくりしたんです。僕は野球やけんね。来られた方の何人かの方が、「J1昇格おめでとうございます」と、銀座を歩いている人が寄って来てくれて、言ってくれて、僕は正直びっくりしました。ただ、ヴォルティスと渦と鳴門というのは、なかなか上手くつながりません。でも、J1に昇格したということが、歩いている人が来て、「ああ、徳島県の店やな」と来て、「おめでとうございます」と何人にも言っていて、本当にありがたかったなと思っておりますが、そんなこともあって、今の来代委員の話じゃないですが、そこでしっかりJ1昇格とか、今、言うてい

た3月1日、8日とか、そういう宣伝をせないかんって思っています。

もう1つ、年が明けたら、もう1回、違う店を出すんです。それには、全部にそれを入れるようにということで、実は昨日、指示をしてきました。すごいなと本当に思っているんですが、我々ももっと頑張らないかんと思うんですが、この前の「おもてなし協議会」でしたよね。あれってやっぱり、確かに来代委員がおっしゃるとおり、知事が会長になったんですよ。だからやっぱり、あそこで出た意見というのは、この議会に、経済委員会には、掻い摘んででも報告したほうが良いのではないかな。そうしないと、分かりにくいと思うんで。

例えば、うち以外のチームが17ぐらいあるんよね。11か12か、ほとんどが関東なんよ。それで、こんな意見もあったんですよ。要するに、飛行機で来るのがかなりあると。それは、飛行機が何とか言ったよね。そんなんのをちょっと掻い摘んで、「おもてなし協議会」でこんな意見があったというのは、この委員会で言うておいていただいて、それで、2月議会も6月議会もずうっと多分、経済委員会の商工労働部関係は徳島ヴォルティスの話ばかりになると思うんよ。だから、言うておいていただいたほうが良いのかなと思います。

新居にぎわいづくり課長

「おもてなし協議会」の意見内容をということでございましたので、ちょっとその時に御説明させていただきました資料が御手元の参考資料として配付させていただいておりますので、そこを掻い摘んで、こういう内容を説明させていただいたということからお話させていただきます。

まず、1ページに横長のJ1リーグのチーム所在地図というのがあると思います。よく御存じの委員もいらっしゃると思いますが、18チームがJ1リーグのチームでございますけれども、見ていただきましたら分かるように、本当にほとんどが関東以北の状況でございます。先程、話がございましたように飛行機を使う人も多いただろうということもおそらくあるかと思えます。

また、18チームがあって、それがホームアンドアウェイ方式による2回戦総当たりということですので、徳島県でも17試合の開催があるということと、それから、ヤマザキナビスコカップというのがございますので、これが数試合ございますので、全体でおそらく20試合ぐらいが徳島県で開幕されるのではないかとございまして。

次をめぐっていただきまして2ページでございますけれども、去年、今シーズンの2013シーズンの徳島ヴォルティスの現状の平均入場者数というのが4,573人で、後半11戦の盛り上がったところで5,597人でございました。今シーズンの最高が、ジェフ千葉戦のプレイオフで9,301人というのが、J2時代の徳島ヴォルティスの成績ということでございます。それで、これがJ1へ昇格したらどうなるんだろうということで、徳島県と人口が近いところのチーム、山形、甲府、鳥栖の数字を書かせていただいておりますが、ほぼ2倍近い来場者の増加の実績がございます。

3ページでございますと、この中で特にありますのが、駐車場が現状4,600台あります。

ただし、今の状況でも2時間ぐらいの渋滞があるということでございます。協議会がこういった資料に基づきまして、いただきました御意見ということでございますが、「渋滞・輸送対策に関しましては、やはりスタジアム周辺の更なる迷惑駐車、渋滞対策が必要である。それからJR等の公共交通機関の増便等の検討が必要だ。また県外から徳島県に入るルートが色々あると思いますので、それを合わせて輸送対策を検討すべきである」という意見がございました。また、観光・宿泊対策に関しましては、「やはり渦、第九、阿波おどり等を全国に発信する必要がある」ということで、様々な意見をいただいたところでございます。

長尾委員

「おもてなし協議会」については、先日の委員会で私も提案して、こうやって成長されたことは評価したいと思うし、また、徳島ヴォルティスがJ1に昇格したことに對して、パレードをやったり県民の気運が盛り上がっていることは素晴らしいことだと思います。時間がないので、私は3つだけ聞いて、3つだけ答えていただいたらいいかなと。あの方の質問もあるので。

まず1つは、今後、この「おもてなし協議会」で検討されていくと思うんですけども、先日のニュースでバス会社だったかな、PRの特典みたいなものを何かするような報道があったと思うんですけども、今後、飛行機にしても色んな工夫ができると思うんですけども、そういったことは今の段階で、どういったことの情報があるとか、聞いているのか、あればそれを1つ教えてもらいたい。

それから、情報発信ということがあったけれども、今後、交通の問題やら観光の問題やらホテルの問題、様々な問題があると。これがばらばらでやっていくのか、情報の一元化みたいなもので、県のホームページで窓口は1つでそこで全部が分かるのか、徳島ヴォルティスの会社のほうで、スマホや様々な手段で全部が分かるのか、そういう一元化というか情報提供については、どういように考えているのか。

それからもう1つは、農林水産部のほうからは声がなかったんやけれども、普通、こういうイベントの時は「新鮮なっ！とくしま号」というのが必ず行っていたと思うんですけども、今回、17回試合で2万人といたら大変な数だけれども、そこに「新鮮なっ！とくしま号」を出さないのか。この3点についてお聞きしたいと思います。

新居にぎわいづくり課長

公共交通機関等の割引につきましては、現在、輸送関係につきまして、関係者の皆様と検討しておりますので、その中でお話をしていきたいと思っております。

仁木観光政策課長

情報発信の窓口の一元化ということでございますけれども、徳島ヴォルティスのホームページと連携いたしましたような形で、分かりやすく試合の情報、観光など、一元的に発信できますサイトなどにつきまして策定をしたり、また、様々な県外の観光プロモーショ

ン等でも発信をしていきたいと考えております。

林農林水産部副部長

徳島ヴォルティスの試合の時に「新鮮なっ！とくしま号」は行かないのかというお話でございました。これまでもホームで開催する際には、基本的に徳島ヴォルティスの応援イベントということで、可能な範囲でさせていただいております。今後とも、商工労働部とも連携の上、可能な範囲でできる限り「新鮮なっ！とくしま号」を派遣してまいりたいと考えているところでございます。

長尾委員

この資料でも大変な関係者がいるわけで、これから大変な御苦労がおりかと思いますが、今、来代委員からもPRの件の大切さが指摘されましたが、ちょっと記憶がはっきりしないんだけど、過去にモノレールジャックというのを1回やったことがあったんだけど、それとか、大阪駅の中でたくさん人が通るところに表示するとか、そういったことをやはり全国区ということで、今までの感覚と違う全国区という意識で全ての広報をした、もちろん、これは予算、お金がかかることでありますから、当然、議会の承認等も必要になりますけれども、効果的なPRをしっかりと、こうした「おもてなし協議会」などの御意見を通して、検討していただければと思っています。

西沢委員

確かに、J1昇格というのはびっくりすることですけれども、これを基に、やはりスタートダッシュするというので、今回もそういう協議会を特別に作って、ずっと続けるんですね。最初だけじゃないと思うんですけれどもね。今、長尾委員からのほうも言われた攻めの観光の在り方ということだろうと思うんですけれども、ちょっとまずお聞きします。ユニフォームというのは、これは新しくするんですか。

新居にぎわいづくり課長

ユニフォームは大体毎年、ちょっとデザインを変えて新しくしております。

西沢委員

特に、これはJ1昇格ですから、これを機にもっと日本全国に徳島県の名を知らしめなにかんので、やはり特別にちゃんと考えて作って欲しいなと思うんですけれども。徳島県は、今、藍をもう一度売り出そうということで頑張っていく状況なんですけれども、例えば、ジャパンプルーの藍染めなんか、できたらユニフォームに反映して欲しいなと思うんですよね。徳島県自身を売り出すには、何を売り出すか。色はジャパンプルーでしょうね。だから、ユニフォームというのは、あの色が宣伝になりますので、一番宣伝になりますので。そういう意味で、大塚製薬とか日亜科学工業とか、色々な大手がこんなんをやりたいということもあるでしょうけれども、その中でも色なんかは、やはりこれを使って欲し

いなど、協議会の中で議論して欲しいなというふうに思います。

今、考えておられる県自身の戦略は、あまりないわけですか。その中で議論していただくというだけですか。この際の攻めの戦略というのは、本当にすごい時なんで、先程ありましたように、当然、この際、飛行機代なんかも安くして欲しいしと思うんですけどもね。この辺りは、この中の委員に入っていますよね。徳島の全日本空輸株式会社とか。できたら、この際ということもありますけれども、高い物は安くして欲しい。何かある時だけ、試合がある時だけでなくて、ずうっとやっぱり徳島県の戦略を大きく変えるためには、やはり飛行機の金額そのものが、かなりの問題になってくると思うんですけども。どうでしょうかね。

仁木観光政策課長

現在、まだ確定的ではございませんけれども、例えば、飛行機のチケット等でありませうとか、そういったものと試合を組み合わせたようなパックを作るとか、そういったことについても鋭意、御検討をいただいていると各関係事業者からは聞いております。

また、我々としましても、この徳島ヴォルティスの試合はもとよりであります。他の時も併せまして、観光の振興、多くの方に観光に来ていただいて、そして、宿泊していただければというように、県内の関係旅行会社や関係業者さんにもお願いしてまいりたいと考えております。

新居にぎわいづくり課長

ユニフォームの色につきましては、徳島ヴォルティスさんと相談しなければと思っておりますけれども、また、そういった意見がありましたことを伝えていきたいと思っております。

西沢委員

本当に、これはすごい、素晴らしい時期だと思いますので、全力でやって欲しいなと。県議会のほうも、今、来代委員が言ったように、効果があるものは当然ながら、議会のほうでも、どんどんやってくれよということになりますので、こういう時期を捉えて、よろしく頼みます。

それともう1つお聞きしたいんですけども、この中で漁港整備、建設費ですが、これに牟岐漁港は入っているんですよ、今回の補正予算には。

船越水産課長

今回の補正予算に、牟岐漁港は入っております。

西沢委員

金額ぐらひは言うてください。これは全額ですかね。

船越水産課長

失礼いたしました。広域漁港整備事業ということで、2億2,140万円の事業費をお願いしております。

西沢委員

なかなかできそうで、できないんですよね、最後までね。もうちょっとなのにな。いつ頃できるんですか。

船越水産課長

今、お聞きになられましたのは、牟岐漁港の西の浜の護岸の話でよろしいでしょうか。護岸につきましては、計画延長が385メートルで、現在までに315メートルが完成しております。残りの70メートルを今回の補正予算でお願いするものでございますが、これは平成26年度中に仕上げたいということで考えております。

西沢委員

今回の補正予算プラス平成26年度予算で完成させると。今回の予算で完成するんじゃないかと、平成26年度ですから来年度の完成ですね。それとも、この予算で完成するということですか。どっちですか。

船越水産課長

この補正予算で、完成したいと考えております。

西沢委員

分かりました。非常に一番最初から大変な状態だったけれども、やっと完成ということで本当に嬉しく思います。一応、次の南海地震に間に合ったのかなど。高さのことはありますけれども、一応、工事が間に合ったんだろうなということで嬉しく思います。これで終わります。

有持委員

今回の徳島ヴォルティスで、やはり一番はホテル業界、旅館業界等にもかなりの、それだけの効果があると思うんですけれども、徳島県の場合は、本当に全国一ホテルとか旅館とかが少ない県でもございますので、そういうことも観光部局のほうで、このメンバーにも日本旅館協会徳島県支部も徳島県旅館業生活衛生協同組合等も入っておりますけれども、まず、宿泊等については、どのような手当てをするのか、それをお聞きしたいと思います。

仁木観光政策課長

旅館、宿泊についての手当の関係でございます。徳島県全体での宿泊のキャパシティが約2万人がおります。そして、その中で東部地域が約1万2,000人ということでございます。これは、3月から11月までの平均の宿泊定員稼働率を見ますと約3割で、これはお

しなべてでございますけれども、ということでございます。

従いまして、時期による差はございますけれども、大きなイベントなどとのバッティング等がなければ、宿泊については大丈夫なのかなと考えております。また、おもてなしにつきましても、十分に意を用いていただけますように、関係団体の皆さんにはお願いしているところでございます。そうしたことにより、リピーターにもつなげていきたいと考えてございます。

有持委員

何故かと言いますと、この間、全国の人権大会があつて、徳島県にたくさんの方が宿泊されたわけでございます。その時に、私の知り合いの方から、こういう意見があつたんですけれども、2日間のお品書きということで、徳島県の物産を使った料理をしていただいたんです。その時に、小松島の竹ちくわとか、鳴門のワカメとか、和田島のかえりチリメンとかというふうに、産地を指定したお品書きが中に入っているんですけれども、その中に、他にもレンコンとか、金時芋とか、白身のフライとか、スダチとか、鶏の照り焼きとかというふうな産地指定のないものもある。これだったら一層、徳島県の地産地消ということで、徳島県の物をもっと宣伝したらどうかというふうな御意見もあつたわけです。

しかしながら、産地を指定すると、私もその時は言ったんですけれども、産地を指定すると、例えば、金時芋であれば鳴門金時と指定したら、川内町にも芋があるんぞということになりますし、スダチを神山町のスダチとしたら、他にもスダチはあるんぞということになりますので、金時であれば徳島県の物と、そういう意味合いで産地指定をしなかったんだろうという説明をさせていただいたんですけれども。

こういうふうに、全国から集まった時にお品書きをするのであれば、これももう1つ、今、非常に問題になっております産地の偽装とか、そういうのも含まれておりますので、特に、これからせつかく全国から大勢の皆さんがおいでいただけますことについて、今まで阿波おどり期間中だけ特別な料金で、泊まろうと思つても予約が取れないとか、予約を取るんだつたら、倍ぐらいのお金を払うんだつたら取れますというふうな話も聞きますので、十分に徳島県の本当のおもてなしということを考えるのであれば、そういうことも含めて、観光のほうで御利用いただけますように、これは要望しておきますので、よろしくお願いしたいと思つます。

森田委員長

他に質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、商工労働部・農林水産部関係の調査を終わります。

これをもって、経済委員会を閉会いたします。（11時59分）